

2014年度 就業支援事業所 「しあんくれーる」 事業計画

児童養護施設退所者などの就業支援事業として2009年度に始めた本事業は、6年目を迎える。1年ごとに静岡県と契約を交わす委託事業であるが、3年～5年後を見据えた取り組みが求められている。

1. 職員体制

こどもの家職員にまきばの家職員も加わり、事業が計画的に遂行できるように体制を整える。まきばの家やこどもの家職員と連携を持ちながら活動を進める。

2. 経営面

補助金は、年間約400万円と決定している。予算に合わせ、兼務という人員配置とならざるを得ない。

3. 各施設及びハローワーク、ヤングジョブステーションとの連携

中部地区、西部地区の児童養護施設6カ所、児童自立支援施設1カ所が守備範囲となっている。各施設と連携を深めるとともに、退所予定者の実態把握に努め、早い段階から対象児の支援体制を整えていきたい。また、各地のハローワークやヤングジョブステーションとも連携をとり、新たな職場を開拓していきたい。

4. 就業支援セミナー「社会に旅立つ君に」開催

毎年行ってきたセミナーであるが、2013年度は、中部地区の施設の便宜を図り、浜松市と静岡市と交互に年間5回を計画し実行してきた。2014年度もさらに内容を充実したものを提供していきたい。

5. 児童福祉施設退所者の就業を支援する会 「(仮称) みちしるべ」の発足を計画

「しあんくれーる」の事業を行う中において、施設を退所した子どもたちが失業状態の時に具体的に仕事を与えてくれる雇用主が必要であることを痛感してきた。2014年度には、静岡県西部地区児童福祉施設退所者の就業を支援する雇用主(事業主)のネットワークの実現に向け努力する。

6. その他

今後も継続が必要な事業になっている。県内だけでなく、施設退所者のアフターケアを先進的に取り組んでいる他県の事例に学びながら本事業を発展させていきたい。